

受 験 番 号						氏 名	

2017 (平成29) 年度放送大学  
 大学院修士課程  
 文化科学研究科 文化科学専攻  
**社会経営科学プログラム**  
**筆記試験問題**

試験日：2016 (平成28) 年10月2日 (日)

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、HB又はBの黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、問題冊子を確認してください。**問題冊子は、表紙、白紙、問題4頁の順に綴じられています。**冊子を綴じているホッチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号、「大問題」番号、「大問題」ごとに何枚目であるかを解答用紙別に必ず記入してください。小問題及び選択問題を解答する際の番号は、解答用紙のマス目の外に記入してください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、**社会経営科学プログラムは3枚**で解答してください。指定された字数を超えないよう、注意して解答してください。
8. 問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を持ち帰ってはいけません。
9. 問題冊子は試験終了後に回収します。問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始から40分を経過した後は、問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

## 社会経営科学プログラム 筆記試験問題

第1問と第2問の両方に解答しなさい。なお、第1問と第2問の解答にはそれぞれ別の解答用紙を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること。

第1問 以下の6個のパラグラフのうち、2個のパラグラフのみを選択し、それらを和訳しなさい。（2つ合わせて1000字以内）なお、各和訳の冒頭に、選択したパラグラフの番号を付すこと。

1. We are committed to using trade to create economic opportunities for workers, consumers and firms. We reaffirm our commitment to keep our markets open and to fight all forms of protectionism. In order to further boost free trade, we commit to strengthen the rules-based multilateral trading system and promote WTO negotiations. We also encourage trade liberalization efforts through regional trade agreements including the Trans-Pacific Partnership (TPP), the Japan-EU Economic Partnership Agreement (EPA), the Transatlantic Trade and Investment Partnership (TTIP) and the Comprehensive Economic and Trade Agreement (CETA). We recognize that global excess capacity in industrial sectors, especially steel, is a pressing structural challenge with global implications and this issue needs to be urgently addressed through elimination of market distorting measures and, thereby, enhancement of market function.

2. We commit to take concrete actions for advancing global health as elaborated in the *G7 Ise-Shima Vision for Global Health*, highlighting that health is the foundation of economic prosperity and security. We commit to promote Universal Health Coverage (UHC) as well as endeavor to take leadership in reinforcing response to public health emergencies and antimicrobial resistance (AMR) which could have serious impacts on our economies. We also emphasize promoting research and development (R&D) and innovation in these and other health areas.

3. We commit to create a society where all women and girls are empowered and actively engaged for sustainable, inclusive and equitable economic growth. We commit to empowering women and girls, including through capacity-building such as education and training as well as promoting active role of women in Science, Technology, Engineering and Mathematics (STEM) fields. We endorse to the *G7 Guiding Principles for Building the Capacity of Women and Girls* as common guiding principles for our actions.

4. Our collective and individual action to fight corruption is critical for economic growth, sustainable development and maintaining peace and security. We resolve to take measures to improve public procurement transparency, enhance fiscal transparency, and improve anti-corruption capacity building as well as strengthen law enforcement cooperation. We will also promote global effort to fight corruption. We endorse the

*G7 Action to Fight Corruption* as our commitment to lead by example in moving the global anti-corruption agenda forward.

5. The G7, continuing to take a leadership role, commits to taking the necessary steps to secure ratification, acceptance or approval of the Paris Agreement as soon as possible, and calls on all Parties to do so striving for a goal of entry into force in 2016. We commit to take the lead by early, transparent and robust implementation of our nationally determined contributions, and promoting increased ambition over time. We also commit to actively participate in the regular review of global stock-take progress every five years. We commit to formulate and communicate ambitions mid-century long-term low greenhouse gas (GHG) emission development strategies well ahead of the 2020 deadline.

6. Recognizing the important role that the energy system has to play in the implementation of the Paris Agreement, we are determined to accelerate our work towards the transition to an energy system that enables a decarbonization of the global economy, and commit to further invest in supporting innovation in energy technologies and encouraging clean energy and energy efficiency, so as to ensure economic growth with reduced GHG emissions. Faced with the increased uncertainty posed by the current energy price levels, we also commit to play a leading role in facilitating energy investments, in particular investments in quality energy infrastructure and upstream development.

(出典：G7 Ise-Shima Leaders' Declaration, G7 Ise-Shima Summit, 26-27 May 2016.  
引用にあたり各パラグラフ冒頭の項目名を数字に変えた。) (外務省ホームページ)

第2問 以下に列挙する(1)～(8)の分野のうち、あなたの研究題目に最も近いと考えられる分野を1つ選んで、その問題に解答しなさい。なお、選択した設問の番号と分野名を、解答用紙の冒頭に明記すること。

(1) [政治学分野]

次の①、②から1つ選び、解答しなさい。(800字以内)

- ①近代日本における「国体」という概念について論じなさい。
- ②西洋政治思想の伝統における「自由な国家」の概念について、その現代的な意義を含めて論じなさい。

(2) [法学分野]

次の①、②から1つ選び、解答しなさい。(800字以内)

- ①立憲主義について、その具体的内容として一般に挙げられる権力分立、基本的人権の保障、法治主義などに触れたうえで、その現代的意義について説明しなさい。
- ②『知的財産推進計画 2016』では、IoT (モノのインターネット)、ビッグデータ、人工知能 (AI) などのデジタル・ネットワーク分野での急激な技術革新を推進力とする第4次産業革命が進展しつつあるとしている。第4次産業革命は、たとえばAIが自律的に創作活動を行うことを想定している。その事例を一つあげて、AIの自律的な創作活動により生じるとされる物の権利の帰属について述べなさい。

(3) [国際関係分野]

現在の世界で国境線が脅かされている事例を取り上げ、その背景を論じなさい。(800字以内)

(4) [環境分野]

第四次環境基本計画 (2012年) において目指すべき持続可能な社会とは、人の健康や生態系に対するリスクが十分に低減され、「安全」が確保されることを前提として、「低炭素」・「循環」・「自然共生」の各分野が、各主体の参加の下で、統合的に達成され、健全で恵み豊かな環境が地球規模から身近な地域にわたって保全される社会であるとされている。

これら「安全」、「低炭素」、「循環」、「自然共生」の各分野から一つを選んだうえで、次の①②③の設問に答えなさい。(合わせて800字以内)

- ①それはどのような環境問題を解決することを目指しているか。
- ②その達成のためにはどのような行動が必要か。
- ③その達成に関連する研究・技術開発課題としてどのようなものが想定されるか。

(5) [都市・建築の環境設計分野]

今日、地球環境時代と言われているが、都市環境のランドデザインについて記述しなさい。具体的には、地域によっても異なるので、日本の都市を設定した上で、記述しなさい。(800字以内)

(6) [経済学分野]

日本は大幅な財政赤字を抱えている。この財政赤字がなぜ生じており、その対策にはどのようなことがあり得るのか。経済政策理論の視点を整理して取り上げたうえで、上記の点について論じなさい。(800字以内)

(7) [社会・コミュニティ分野]

次の①、②から1つ選び、解答しなさい。

①B. ウェルマンらが言うところの「コミュニティ問題」(The Community Question)とはどのような問いであるかを簡潔に述べるとともに、この問いに関する学説を2つ以上挙げ、それらについて知るところを述べなさい。(800字以内)

②次に挙げる(a)～(e)の用語のうちから3つを選び、それぞれについて説明しなさい。(3つの用語の説明合わせて800字以内)

- (a) 一次的社会化
- (b) 属性主義的(帰属的)地位
- (c) 役割群
- (d) 直系家族
- (e) 社会移動

(8) [経営学分野]

次の①～③から1つ選び、解答しなさい。(800字以内)

①同一労働同一賃金の実現は困難か、論じなさい。

②企業内外の利害関係者による株式の所有構造がコーポレート・ガバナンスに与える影響について、事例をあげながら論じなさい。

③産業とは何か、説明しなさい。さらに、日本の今日の産業構造の特色を述べなさい。

以上